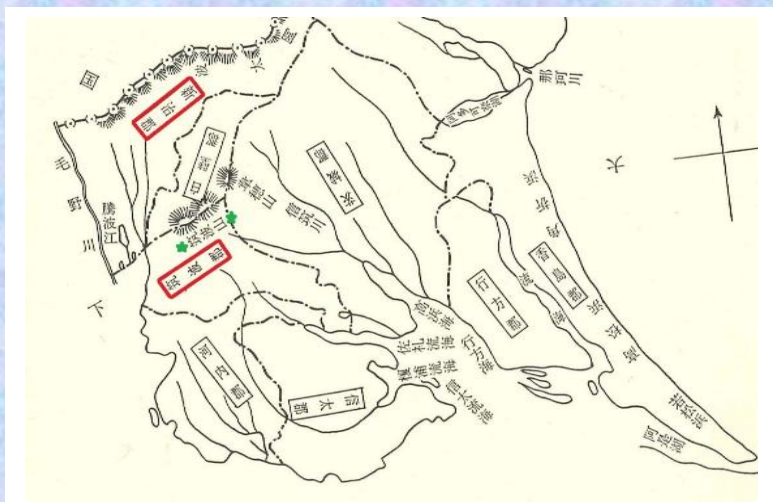


令和5年度 第2回歴史講座

『俺流に読む常陸風土記Ⅱ』

—筑波郡と新治郡—

『常陸国風土記』は東国の文化風土や地勢等の様相を伝える唯一の資料です。今回は“訪ねてきた神祖の尊の宿泊を富士山は新嘗の諱忌を理由に断ったのに対し、筑波山は歓迎したため、1年中雪が降り積もる富士山に対し、筑波山は人々が行き集うことが絶えなくなった”との「富士筑波伝説」がある筑波郡と、現在の県西部の新治郡に関する地名や神話、説話について、独自の見解をお話しいたします。



和銅中十一郡図（『新編常陸国誌』より）

▼日 時：令和5年6月24日（土）

午後1時30分～3時

▼会場：龍ヶ崎市歴史民俗資料館 多目的室

▼講師：須藤 研 氏（東京大学生産技術研究所名誉教授）

▼定員：30名（定員になり次第締め切ります。）

▼申込方法：6月9日（金）午前10時から電話及び資料館窓口で受付を開始します。

▼申込・問合せ先：龍ヶ崎市歴史民俗資料館

〒301-0004 龍ヶ崎市馴馬町2488番地

TEL 0297-64-6227